

子育てを楽しみ
ながら、
今までのスキルを
喜多方で活かす。



井上 幸司 さん(30代)
愛実 さん(30代)

<喜多方市>
料理人・店舗店員
(就業)
2022年 U・Iターン

喜多方市に家族で移住

『日本三大ラーメンのひとつと言われる「喜多方ラーメン」が全国的にも有名な喜多方市。会津盆地の中でも北に位置し、飯豊山の伏流水と日中ダムの水源であるブナの森により、水の豊かな町です。その水を活かしたラーメン、酒造りに加え、山間部の山都町や雄国周辺は蕎麦処でもあります。』

幸司さんは喜多方市に生まれ育ち、郡山市で料理人として腕を磨いてきました。同じ職場で出会ったいわき市生まれの愛実さんと結婚され、3人のお子様にも恵まれました。喜多方市へUターンしたきっかけや今のお仕事、移住しての感想をご自宅にて取材しました。』

取材日 2022年10月30日

移住のきっかけと子どものこと

<移住のきっかけ>

そもそものきっかけは私(幸司さん)の母の病気です。私たちは郡山市に住んでいて、近くにいた方が安心だろうと喜多方市に移ることにしました。借家など住むところを探していた時に、喜多方市では移住者が家を建てる際に補助金が出る制度があることを知り、一気に背中を押された感じです。借家の家賃と同じくらいで家の返済ができるのですから、大きなポイントになりました。今は母の病気も落ち着いていて、安心しています。

<喜多方市での暮らし>

子どもは今9歳、8歳、4歳です。喜多方市に移ってから、もう、本当にのびのびしています。保育園もサポートしてもらい、すぐに入園することができました。これは仕事を探す意味でも大きかったです。

あと喜多方の人はあったかいですね。小学校は集団登校ではないのですが、ご近所の方が声をかけてくれて登校時間をあわせてくださいました。

市内にちょっとした公園は少ないのですが、移ってからすぐ近くに室内遊び場「めぐらざ」ができましたし、冬はスキー場でウィンタースポーツを楽しんでいます。私たち二人とも子どもたちはスマホのゲームで遊ばせるより、自然を感じさせて育てたいと思っていますので、今の環境はとてもよかったと思います。



<移住で心配だったこと>

子どもがまだ小さかったので、小児科が少なく夜間病院がないと聞いて、心配でした。特に夜に具合が悪くなったらどうしようと。郡山市では夜間病院が何カ所かありましたが、喜多方市にはなく、隣の会津若松市まで行くと聞いていました。実際は、近くの小児科が日曜も受診することができましたし、平日も18時までやっているのでもとても助かっています。

喜多方市での仕事と魅力

<喜多方市での仕事>

私(幸司さん)は橋谷田商店の料理人をしています。ここは私より少し先にUターンしていた友人のお店です。加工所があるので商品開発をしたり、依頼が来た料理を作ったり、食のコンサル業もしています。

最初の仕事は田村市にある天然の鍾乳洞「あぶくま鍾乳洞」の商品開発でした。ワインがある町なのでそれを活かしたピンク色のワイン塩を作りました。他にも喜多方周辺の農家さんの野菜で商品開発したり、農家さんが自家商品でお金が入るようにしたいと思

っています。

いずれは自分のお店を持ちたいと思っていますが、この加工場での仕事はずっと続けたいと思います。

私(愛実さん)はアイツピーナツマートのピーナツ工場の店長をしています。地元の人との繋がりも深くてやりがいのある仕事です。お店の商品には主人が携わったものもあり、美味しいと言ってもらえるととても嬉しいです。

<喜多方市の魅力>

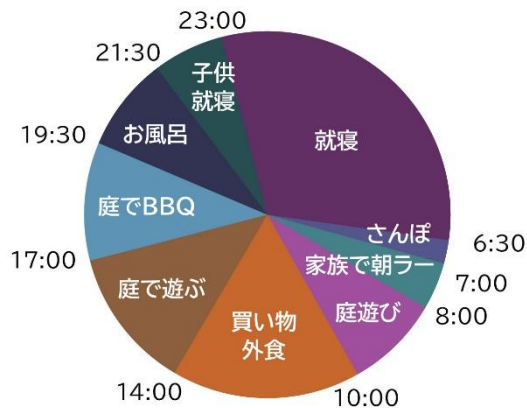
私たちにとって、子どもがのびのび遊べて、野菜が美味しくて、無理なく人付き合いができる喜多方市での生活はすごくいいです。郡山市に住んでいた時は隣の方の顔も知らないくらいだったので、喜多方のようにこんなに地域の人と関わることはありませんでした。喜多方市の方って皆さん優しいと思います。例えば、雪道で車がはまったことが何度かありますが、毎回どこからともなく人が来て助けてくれるんです！最初は驚いたんですが、何度か続くと喜多方の人たちの当たり前なんだと気づきました。知らない人でも困っている人を助ける人柄に感動しました。だから子どもたちも自然に溶け込めていますし、私たちも楽しく仕事が出来ているのだと思います。

あと喜多方ならではの言えば、日曜の朝、子どもたちに「朝ラーに行きたい！」と言われれば、歩いて行く距離にお店があるのも住む魅力ですね(笑)



地元の人に愛されてきた商店を改装

ある一日のスケジュール



井上さんの行動歴

幸司さん 喜多方市生まれ ⇒ 郡山市(専門学校・就職) ⇒ 喜多方市へ
愛実さん いわき市生まれ ⇒ 郡山市(就職) ⇒ 喜多方市へ

移住を検討している方にアドバイス

移住者向けの補助などを活用する場合、書類を揃える時間がかかるので早めに動くことが重要です。



BBQをよくするというデッキにて

現住人口 43,706人 男性/21,017人 女性/22,689人

面積 554.63平方キロメートル

標高 海拔 210.8m(喜多方市役所)

最寄駅 JR磐越西線「喜多方駅」

最寄IC 磐越自動車道「会津若松IC」

保・幼・こ 認可保育所 10か所 幼稚園 2園 認定こども園 11園

小学校数 公立 17校

中学校数 公立 7校

高校数 公立 3校

病院数 病院 6か所 診療所 17か所 歯科 22か所

市の特徴 会津盆地の一番北側に位置し、北西には飯豊連峰、東には名峰磐梯山の頂を望む雄国山麓が裾野を広げ、南は阿賀川が流れる豊かな自然に恵まれている地域である。日本三大ラーメンの喜多方ラーメンが有名で、現在でも100店舗近くがある。山間部の山都地区は蕎麦が名産で、そば祭りには県内外から多くの人を訪れる。

移住サポート窓口 喜多方市役所(地域振興課)
喜多方市ホームページ
<https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/iju-info/>
電話:0241-24-5306
メール:chiiki@city.kitakata.fukushima.jp

